

<ブライダル・セレモニーに関する実態調査>

ゲスト目線の「おもてなし」を重要視する傾向が強まる レストランウェディングレポート2013

結納・顔合わせから結婚式・二次会・ブライダルデー(結婚記念日)までトータルにサポートする情報検索サイト「ぐるなびウエディング」(<http://wedding.gnavi.co.jp/>)では、過去に挙式・披露宴やレストランウェディングなどのブライダル・セレモニーを実施した人の実態を調査、結婚時期別に分析しました。

2013年のブライダル・セレモニーは招待人数が減少し、ゲスト目線の「おもてなし」をするという傾向がさらに強くなりそうです。「料理のおいしさ」で選ばれているレストランでのブライダル・セレモニーは今後、料理を重視するカップルからの注目を集めそうです。

<調査結果詳細>『レストランウェディングレポート2013』<http://wedding.gnavi.co.jp/restaurant/report/pdf/>

【調査概要】

■調査方法: インターネット調査

■調査期間: 2012年11月6日～12日

■調査対象: 20～40代の既婚女性でブライダル・セレモニーを実施した人

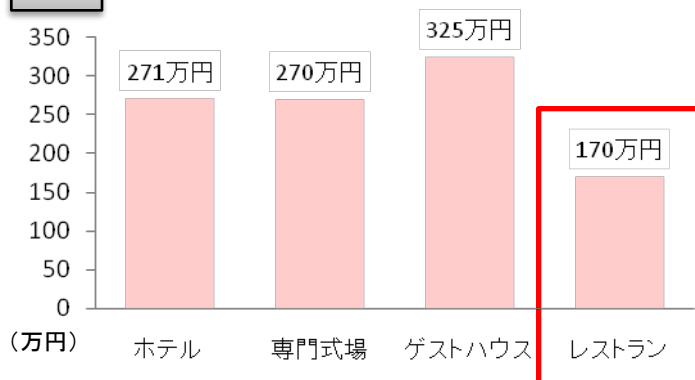
■サンプル数: 21,667人

1

招待人数は減少でもゲスト1人あたりの費用は増加傾向に！

Q1. セレモニーの費用総額、自己負担額、招待人数を教えてください。 ※n=21,657(回答者ベース)

図1 会場タイプ別の平均費用総額



(図1・2) 会場タイプ別に平均費用総額と招待人数を見ると、「ゲストハウス」325万円・66人、「ホテル」が271万円・74人、「専門式場」が270万円・68人、「レストラン」は170万円・52人という結果となりました。

ゲスト1人あたりの費用は最も高い「ゲストハウス」4.9万円と最も安い「レストラン」3.3万円を比べると1.6万円の差があります。

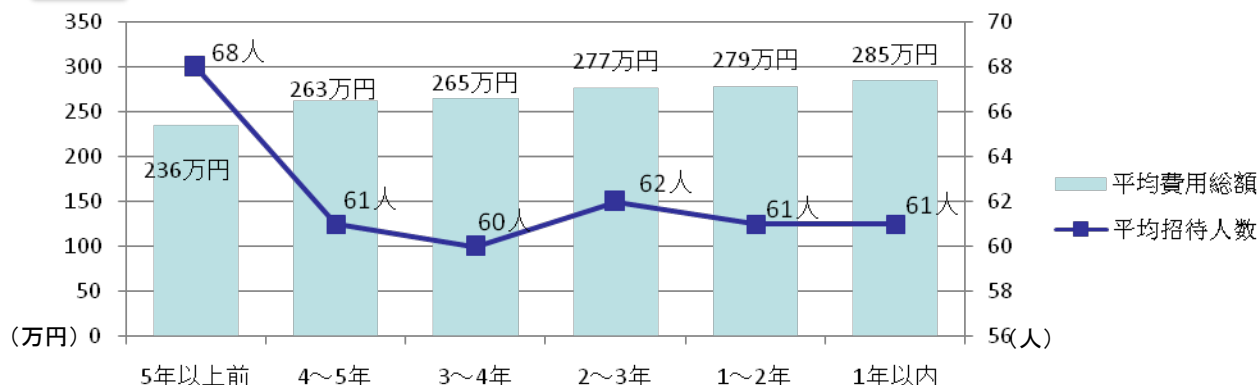
平均招待人数については「ホテル」が多く、「レストラン」が少なく、ある程度開きがある結果となっています。なお、ご祝儀の金額を3万円とした場合、「ゲスト招待人数×3万円」として自己負担額の目安を算出することができます。レストランウェディングでは会費制で行う場合もあるため、自己負担額は会場タイプや招待人数、招待制(ご祝儀制)・会費制によって差が出てきそうです。

図2 会場タイプ別の平均招待人数・ゲスト1人あたり費用

	ホテル	専門式場	ゲストハウス	レストラン
平均招待人数	74人	68人	66人	52人
ゲスト1人あたりの費用 ※費用総額÷平均招待人数	3.7万円	4万円	4.9万円	3.3万円

(図3) 結婚した時期別で5年以上前に比べると、招待人数が少なくなっていることが分かります。しかし、その一方で平均費用総額は上昇傾向にあります。

図3 結婚時期別の平均費用総額・平均招待人数



2

ウェディングセレモニー会場の選定で、重視されるポイントはゲスト目線！？

Q2. 実施した会場タイプを選んだ理由は？(複数回答) ※n=21,667

会場選定で重視した項目を全体で見ると、1位は「立地・アクセスが良い」(47.1%)、2位は「料理が美味しい」(42.8%)、3位は「予算的にちょうど良い」(36.7%)という結果となりました。

図4 「レストラン」でウェディングセレモニーを実施した人

※n=5,234

順位		%
1	料理がおいしい	56.1
2	予算的にちょうどよい	42.3
3	立地・アクセスがよい	40.8
4	希望の人数に合った収容人数	34.7
5	カジュアルにできる	30.6

図5 上昇率ランキング

※結婚時期が1年以内(n=844)の回答率から5年以上前の回答率(n=14,708)を差し引いたもの

順位		%
1	外観・インテリアが良い	18.2
2	料理が美味しい	15.5
3	立地・アクセスがよい	15.2
4	自由な演出ができる	12.7
5	希望の人数に合った収容人数	9.6

(図4)ウェディングセレモニーの会場に「レストラン」を選定した人に絞って結果を見てみると、やはり「料理のおいしさ」(56.1%)というレストランならではの良さと、「予算的にちょうどよい」というリーズナブルさで選ばれているようです。

(図5)また、会場選定の理由を結婚時期が5年以上前の回答と1年以内の回答の上昇率で見ると、「外観・インテリアが良い」(18.2%)、「料理が美味しい」(15.5%)、「立地・アクセスが良い」(15.2%)の上昇率が高く、近年はゲスト目線のおもてなしを意識した項目が重視されているようです。

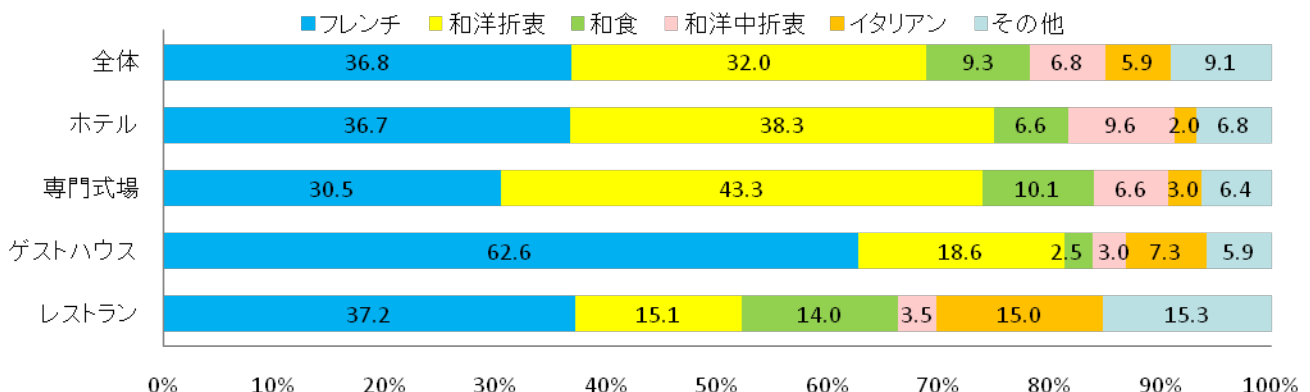
3

ウェディング・セレモニーでの料理は「フレンチ」と「和洋折衷」が人気を二分！
他とは違う料理ジャンルにこだわるならレストラン！

Q3. セレモニーで提供された料理ジャンルは？ ※n=21,667

全体では、1位「フレンチ」(36.8%)と2位「和洋折衷」(32.0%)が人気を二分する結果となりました。1位の「フレンチ」は、ブライダル・セレモニーというシーンで、普段よりも特別感を感じられる料理をゲストの方に楽しんでもらいたいという思いから人気なのでしょう。会場タイプごとに見ると、「ゲストハウス」では圧倒的に「フレンチ」が多いようです。レストランはお店によって提供される料理ジャンルが異なるため、「フレンチ」、「和洋折衷」だけでなく、「イタリアン」、「和食」など幅広い料理ジャンルが提供されています。

図6 会場タイプ・料理ジャンル別

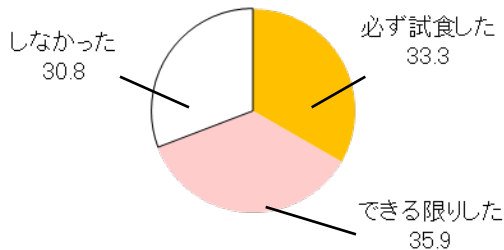


4

レストランウェディング実施者は試食の際に「列席者に合うかどうか」をチェックする傾向に

Q4. レストランでブライダル・セレモニーを実施した方のうち、下見をした方にお聞きます。
試食はされましたか？

図7 3年以内にレストランで披露宴またはお披露目パーティ、1.5次会を実施した方のうち1件以上下見をした方。 ※n=568



(図7)レストランでセレモニーを行い、なおかつ下見を実施した人のうち、約7割(69.2%)もの人が料理の試食をしていました。

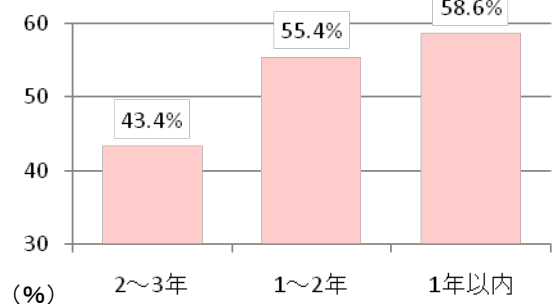
(図8)また、「その試食の際に、どのような点をチェックしましたか？」とたずねたところ、「味」(98.7%)はもちろん「見た目の美しさ」(64.4%)、「価格」(53.7%)、「列席者に合うかどうか」(50.9%)、といった項目まで幅広くチェックをする方が多いようです。

(図9)なお、近年は「列席者に合うかどうか」が増加傾向にあり、ゲスト目線のおもてなしを重要視する方が多いようです。

図8 図7で「必ず試食した」「できる限りした」と回答した方 ※n=393 (複数回答)

順位		%
1	味	98.7
2	見た目の美しさ	64.4
3	価格	53.7
4	列席者に合うかどうか	50.9
5	品数	48.1

図9 結婚時期別
「列席者に合うかどうか」と答えた人



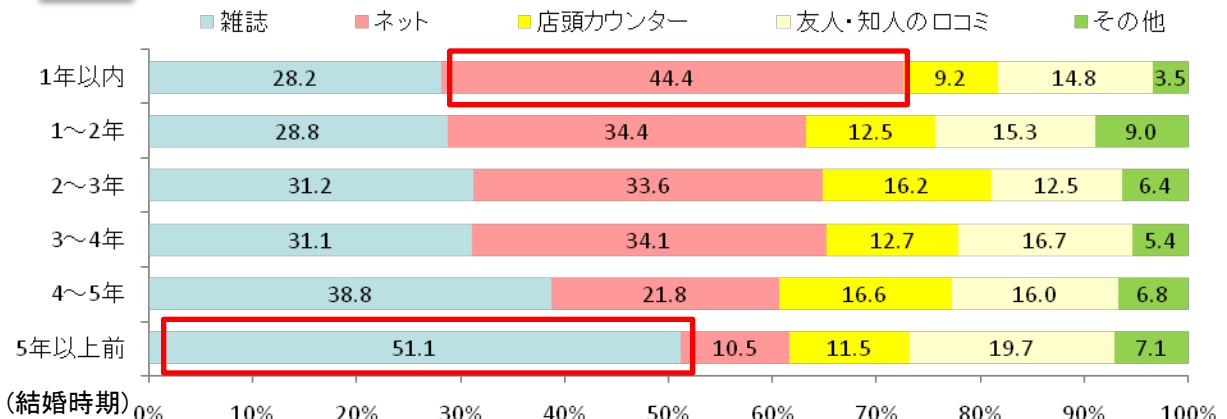
5

会場を決定するツールとして、ネットが雑誌を逆転し急上昇！

Q5. 会場決定の決め手となったツールは？ ※n=3,887

レストランウェディング実施者を結婚時期別に見ると、5年以上前は「雑誌」(51.1%)が約半数を超えていましたが、「ネット」が急成長し3～4年以内では逆転しています。その後も毎年伸びており、結婚歴1年以内の人では「ネット」(44.4%)が会場決定に大きな影響力を持っているという結果となりました。口コミや実際の写真などの情報が豊富で、リアルタイムに更新される「ネット」は2013年さらに勢力を増していそうです。

図10 レストランで披露宴またはお披露目パーティ、1.5次会を実施した方



＜本件に関するお問い合わせ＞
株式会社ぐるなび 総合政策室 広報
TEL: 03-3500-9700 MAIL: pr@gnavi.co.jp